

コミュニティ広報  
三〇〇号に達成!

広報編集室  
室長 片桐 信市

コミュニティの広報第一号は「北条コミュニティ」の名称で昭和五十三年十月に発行されました。それから、二十五年度の歳月を経て、今回の九月号で記念すべき第三〇〇号の発行になりました。

これも、歴代の広報担当者のご苦労はもちろんなこと、地域の皆さまの投稿や配布など、多くの皆さまのご協力の賜でございます。ありがとうございます。さて、広報の名称が現在の「山なみ」になったのは、平成十年一月号からです。それは、コミュニティ創立二十周年を機に、地区民総参加によるコミュニティ組織に見直し、その後、愛称を公募、多数の応募の中より、「山なみ」に決定。題字は今井正舟さんにお書きいただき、現在に至っております。また、昨年まで業者委託だった印刷もコミュニティの「ももんが編集局」が打ち込み、印刷をまかせてくださったっております。このような節目の編集を担当出来たことを広報編集室一同感謝すると共に、今後も地域の皆さまに親しみ、愛される、広報紙づくりのためにがんばりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

北条町時代の広報誌  
昭和46年3月25日発行  
第120号特集号より

なお、今回は三〇〇号特集として、合併前の最終広報の一部を抜粋させていただきました。過去の出来事、社会情勢から北条地区は大変活発なことがうかがえ、広報紙の移ろいの中で記録の重要さ、ありがたさを感じました。広報紙の果たす役割を再認識していただければ幸いです。



昭和二十八年二月号より

のど自慢入選者

二月十四日当中学に於けるNHKのど自慢第六回全国コンクール北条地区予選は入場者二千余、その入場料約五万円の盛況ぶり。五十三名出演中第一次入選十四名、第二次入選者は左の通り。

- 一、ハレルヤ 沢田松子 (柏崎市)
- 二、愛の悩み 大川友子 (柏崎市)
- 三、酒は涙か 尾崎辰夫 (柿崎町)
- 四、愛の灯かけ 入澤静子 (北条村)
- 五、熊祭の夜 鴨下三郎 (高田村)
- 六、白樺の夜 田村正 (大河津)
- 七、歌謡曲 沢田松子 (柏崎市)
- 八、俗曲 入澤静子 (北条村)



昭和二十九年六月号より  
タイトル変わる。

昭和三十三年十一月号より

幸先のよい第一歩  
多彩な祝賀行事で賑わい  
町制施行記念

去る十月一日を期して五十五年にわたる村史に終わりを告げ、新しく町制を施行した本町では十一月三日菊かおる文化の日、全町挙げて喜びの記念式を中学校で挙行した。またこれに先立ち同二日から三日にかけては数々の記念祝賀行事が催され幸い二日間の好天も手伝って、町はかつてない歴史的な賑わいにゴツタ返した。

記念式

町制施行の記念式典は、三日午前十一時から中学校で町外の来賓をはじめ、町内代表者約一五〇名が参列して挙行され、式は伊部助役の開会の辞の後、国歌斉唱ついで中学校音楽部生徒による町制施行の歌が斉唱され感激一入新たな中に佐藤町長の挨拶(別掲)つづいて県知事(代理中越支庁杉田総務課長)、県会議長(代理高橋県議)、武田判事、西川参議、近藤県議、竹部郡町村会副会長、関柏崎市助役、小松郡町村議長会長の相づく祝辞があつて最後に竹部副会長の音頭で

北条町の万才を三唱、正午すぎ式を閉じた。またこの日は町制記念に町から贈られた、真新しい揃いの国旗が各戸に掲げられ、旗行列の学童には紅白の祝菓を、町内八〇才以上の高令者には表彰状と記念品の座布団がそれぞれ贈られた。

昭和三四年四月号より



タイトル変わる。

昭和三五年十月号より

第一回町民体育祭準備  
出場者延べ一千人  
役員委嘱二百人

部落対抗メドレーリレーをはじめ、機関、職域、職場、学校と、出場領域が広い上に、対抗レースが重なるので、事前の出場者名簿をととのえ、進行の円滑をはかることになったが、現在提出された名簿のチームは、延べ七〇チーム、出場者五〇〇人におよんでいる。これに、一般参加の個人種目や、中学校のバレー、